

地域社会に根差した  
ウェルビーイングの向上を目指すつながりづくり  
—ふるさと愛を育てる小規模校の実践事例を通して—



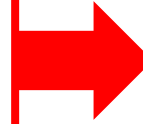
愛媛県東温市立上林小学校 岡山ひとみ

# 令和4年度の研究（教頭1年目として）：T市A小学校に異動

ソーシャル・キャピタルによる地域とともにある学校づくりー伝統継承型コミュニティ・スクールの実践事例を通してー

## 前任校での地域とのつながりの課題

- 1 地域の方の思いと学校の思いが繋がっていない。
- 2 つながる人と機会がない
- 3 取組の積み重ねがなく、校長や教員の経験や熱意によって差が生じる。
- 4 歴史・文化・人財を継承する人財バンク等資料がない。



T市A小学校  
コミュニティ・スクールの実態把握

## 教頭の立場から、地域とともにある学校づくりへアプローチできることは何か。

リーダーシップの  
具体的内容とは

コーディネーター  
の役割は

子どもを育む  
地域学習の実践

対話の場・共通理  
解・活動の周知の  
ための方法は

組織の見直しと改善

共同してエージェンシー  
を伸ばす教員の育成

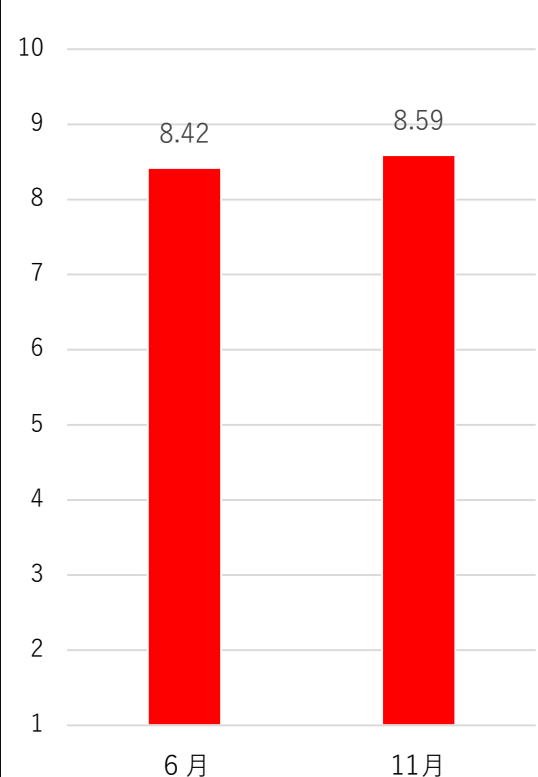
- ① T市A小学校地域の実態に応じたコミュニティ・スクールは、地域の方とともに伝統継承を柱としたふるさと教育を推進していくことで、着実に動き出した。
- ② 地域とともにある学校づくりを行うために、教頭は校長をサポートしながら、人や関係機関とのつながりを強くし、連携するしくみをつくり出していく。

# 1. 研究の背景と目的

## 令和4年度の成果

- ・自己肯定感が上昇した。
- ・自己表現する自信をつけた。
- ・地域の行事に関心を持つ子どもが増えた。
- ・地域を大切にし、将来、地域に貢献したい思いをもつ子どもが育った。

ウェルビーイング n = 19



令和5年6月16日 教育推進基本計画 閣議決定

## 基本的な方針

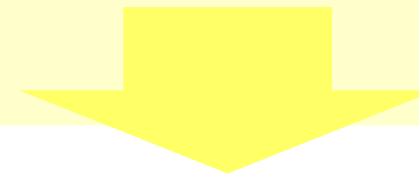
「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

我が国においては、利他性、協働性、社会貢献意識など、人とのつながり・関係性に基づく要素（協調的要素）が人々のウェルビーイングにとって重要な意味を有している。

## 5つの基本的な方針

### ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることにより、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされる。地域で人と人とのつながりを作り、協調的な幸福感を紡ごうと取り組んでいる人たちが自信と誇りを持つことができるようにしていく必要がある。



小規模校では、どのような「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が子どものウェルビーイングを向上させているのか。

## 2. 先行研究

柏木智子（2006）「学校と地域の連携における子どもの主体形成ー参加・他者との関係性・社会認識と自己認識に着目してー」（N中学校）

- 連携活動への参加を通じて、住民との関係性が良好で、社会貢献意欲を有する子ども主体が形成されることが明らかとなった。
- 両者が互いに認め合う相互承認の過程を通じて、社会認識・自尊感情・社会貢献意欲・地域活動意欲の高い子ども主体が形成される。
- 子どもの主体形成を図るには、主体形成に有効な活動内容や介入を考案するような連携制度の確立が需要である。

露口健司（2018）「地域とともにある学校は実現できるか」  
井原光明「コミュニティ・スクールは子どもの何を育むのか」

### 地域を生かす

教育資源としての「ひと・もの・こと」の活用

### 地域を学ぶ

子どもの学びを深める豊かな伝統・文化・歴史の教材化

### 地域に貢献する

地域住民との交流活動を通して取得した知識・技能を活用

### 地域とともに学ぶ

地域の人とともに学ぶ活動による互酬性規範（おたがいさま）の醸成

萩野亮吾（2019）「学校支援を通じた地域のソーシャル・キャピタル再構築の過程ー大分県佐伯市の『協育』関連事業を事例としてー」

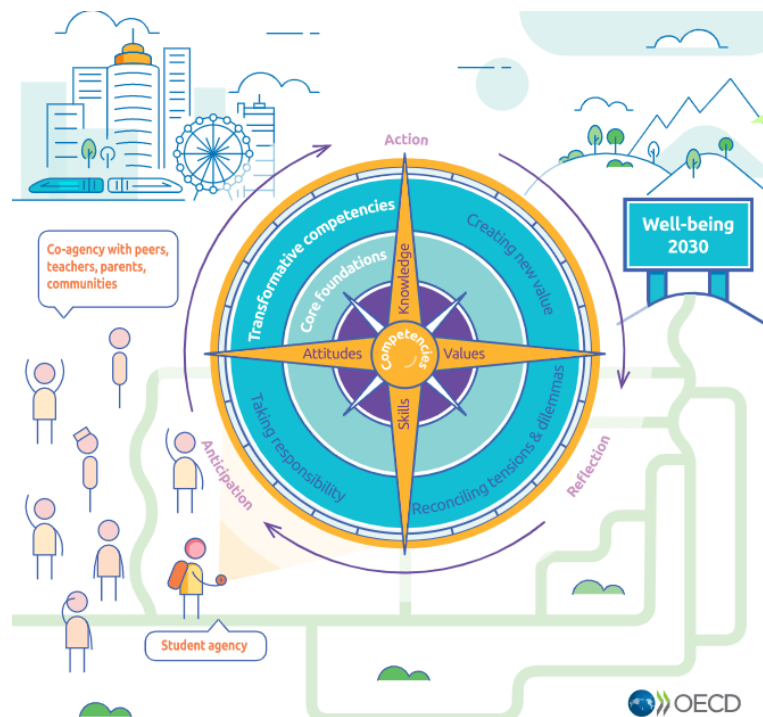
- ソーシャル・キャピタルの構造的レベルの変化として、「関係基盤」の「連結性」の強化がなされた。
- ソーシャル・キャピタルの認知的レベルの変化としての信頼関係構築の方法  
コーディネーターは、地域人材がが学校に行く際の心理的ハードルを下げ、適切なフォローを行い、地域に向けて活動の様子を発信する働き掛けを行う。

諏訪英広・田中真秀・畑中大路（2019）「学校運営協議会設置による地域活性化ーソーシャル・キャピタル論の視座からー」

- CSの設置・実践が地域の活性化に深く関わっている。
- メンバーのキーパーソンが先導して地域住民自らがつながりを紡ぐ多様な「場」と「活動」を作り上げることが活性化を促す。

## 2. 先行研究

白井俊 「OECD Education 2030 プロジェクトが描く教育の未来」



なぜ「コンパス」なのか

VUCAな世界で満足のいく人生を過ごしていくためには、生徒がウェルビーイングの実現—自分自身、他者そして地球の一に向けて自身をナビゲートするよう学ぶことが重要である。

- 身に付けるべきコンピテンシーは、家庭や地域コミュニティを含めた様々な学習の場面全体を通じて育成されるもの
- エージェンシーは、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」
- 目的意識をもち、自らを振り返ることができる責任あるエージェントにならない。
- OECDの定義において、国の未来を担う子どもたちに対する国民の様々な願いや希望、夢や期待、そして伝統や文化を凝縮したものがカリキュラムなのである。
- 教師のエージェンシーを伸ばす具体的な工夫として、様々な意志決定に教師を巻き込んでいくこと、教師が十分に協働できるようなタイム・スケジュールを組むこと、研修選択の機会を広く認めることなどが提案されている。(Calvert 2016)

大蔵真由美 (2022) 「地域教育経営を通じた地域文化の創造と継承」

- 地域教育経営という観点から地域文化の創造および継承について考え取り組むことが、今を生きる私たちと未来を生きる子どもたちの暮らしをより豊かにしていく。
- 地域コミュニティだけでは、地域の伝統文化の継承が困難になっている現状において、行政や民間組織の支援を活用することが不可欠となるだろう。

# 3. 研究課題と研究の方法

## 研究の目的

ソーシャルキャピタルを重視したカリキュラム・マネジメントを充実させることで、人づくり・つながりづくり・地域づくりの循環を生み出し、子どものウェルビーイングとは何かを明らかにする

## 研究課題

- ①小規模校では、どのような「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が子どものウェルビーイングを向上させていくのだろうか。
  - ・子ども・地域・教員調査の分析と考察
  - ・学校運営協議会での熟議の質の変化
  - ・小規模校での実践例「ふるさと学習を柱としたカリキュラム・マネジメント」
- ②子どもがエージェンシーを発揮する教師力とは何だろうか。
  - ・教師の質の変化
  - ・学校外組織の支援

## 研究方法

### ①調査対象

T市A小学校2022年度 教員5名 3年生以上の児童19名 保護者18名 地域住民  
2023年度 教員5名 全校児童19名 保護者15名 地域住民

②アンケート調査、インタビューや会話、観察、児童の感想カードなど

### ③意識調査・方法

・双方向性とコーディネーターの観点から教職員32問、児童20問、保護者・地域26問で質問紙を構成した印南(2022)の意識調査(4件法)を年2回実施

# T市A小学校の概要

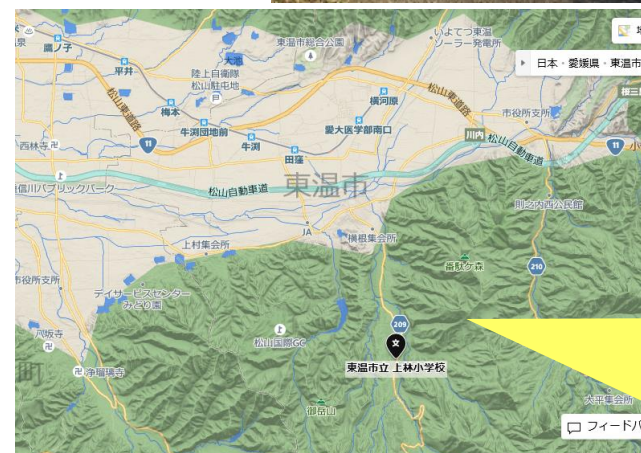
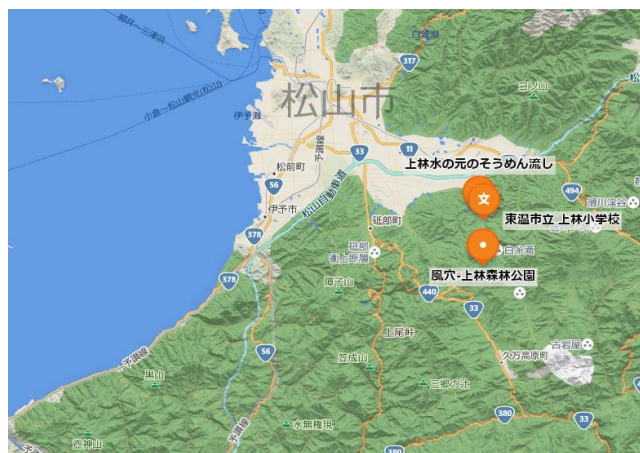
愛媛県T市A小学校は人口687人のまち **過疎化が着実に進んでいる**

- ・ 皿が嶺の裾野に位置し、豊かで美しい自然に囲まれている。
- ・ 標高 約237.6メートルに位置している。
- ・ 昔から米づくりを中心とした農家が多い。

登校の様子



コミスク便りを配る際の風景



## 地域が誇る名所や伝統

### 棚田

東温市が誇る「上林米」の産地



上林森林公園・風穴・そうめん流し  
冷気を生み出す有名なパワー・スポット



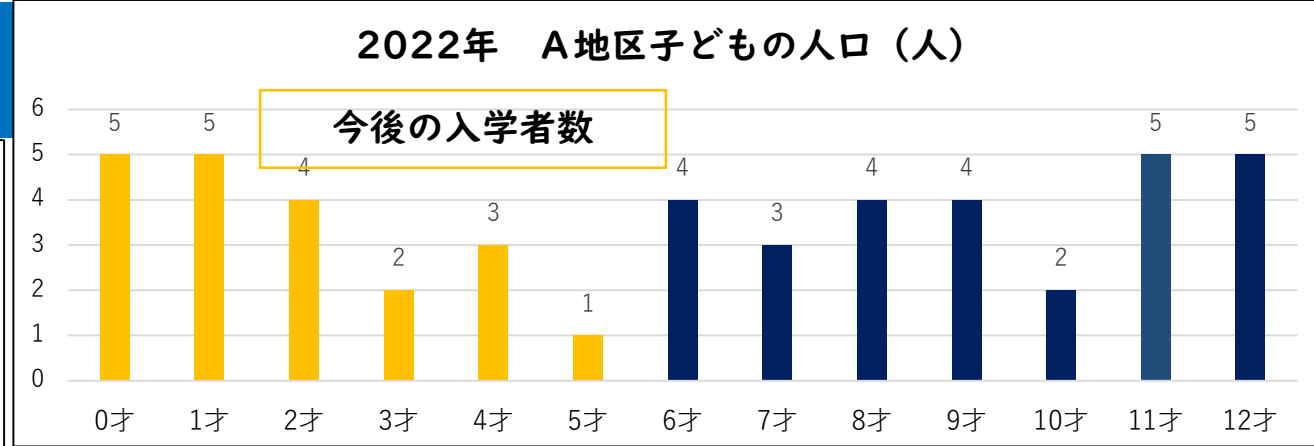
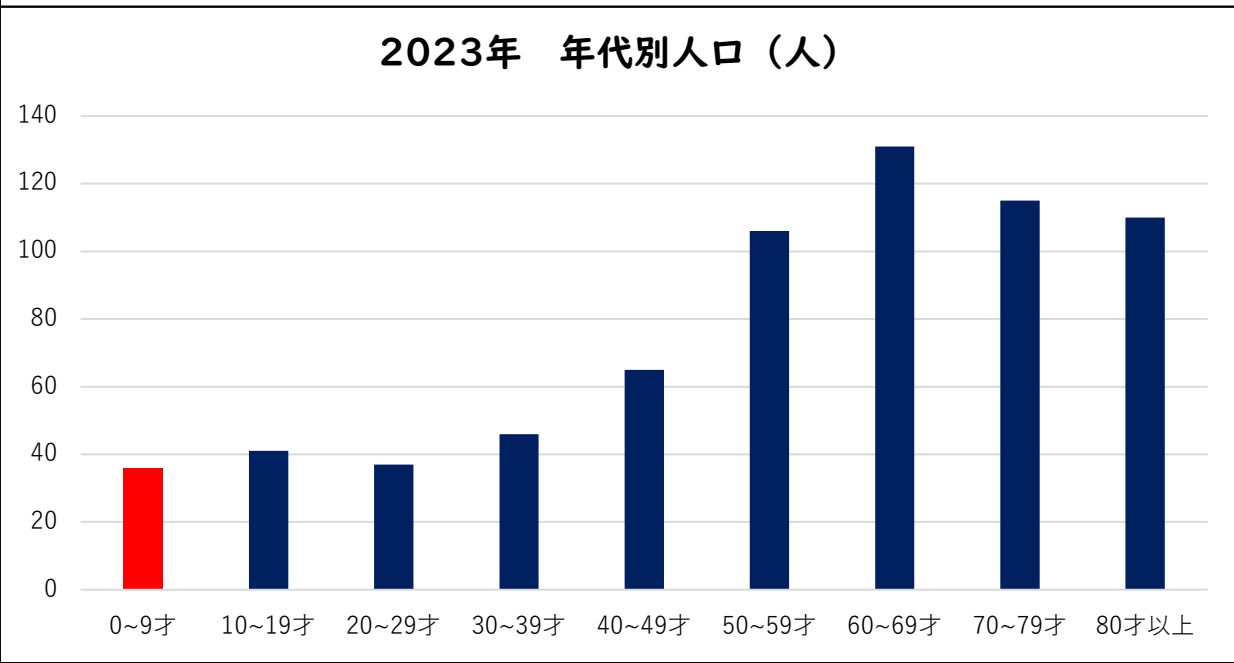
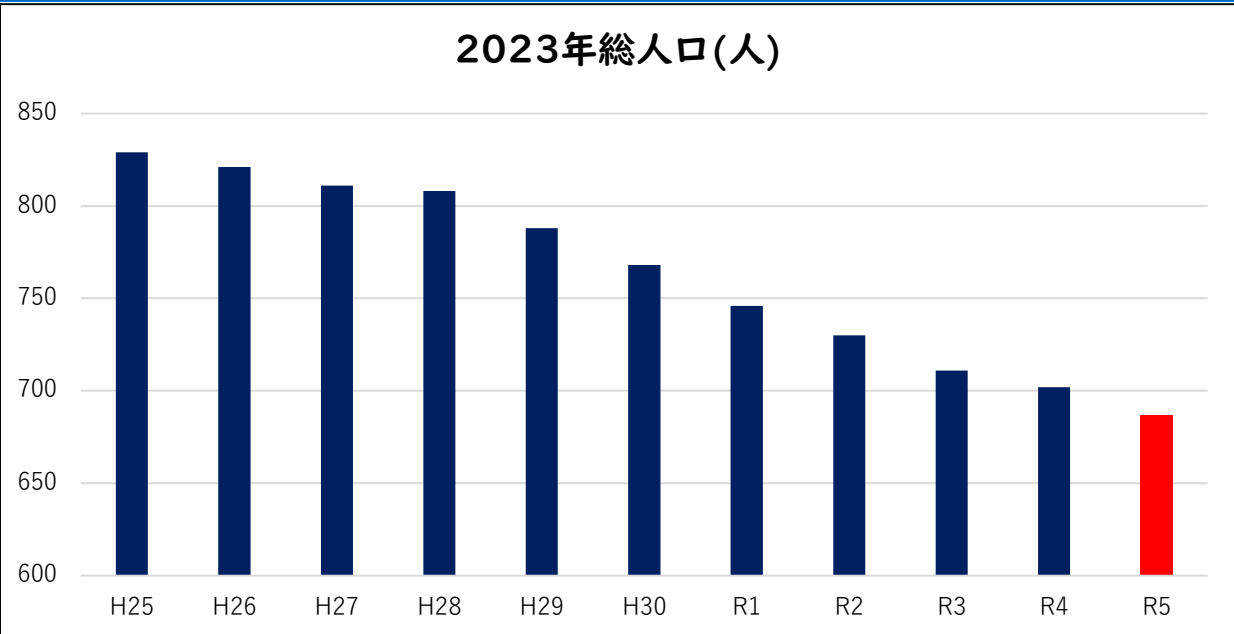
東温市の無形文化財に指定

### 「里神楽」

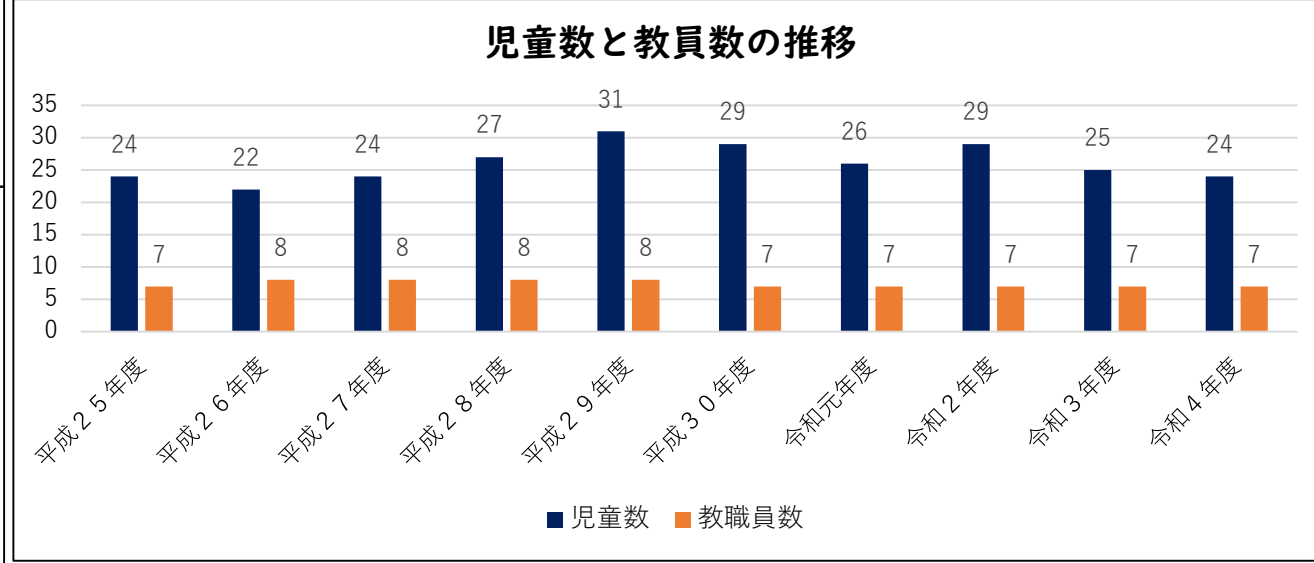
鎌倉時代から続いており、戦後一度途絶えていたが地域の宮司の熱意により復活



# T市A小学校地区の人口と児童数の推移



- ・ 1・2年生、3・4年生、5・6年生複式、特支の4学級
- ・ どの学級にも配慮が必要な子どもと保護者が存在する。
- ・ 若年教員であってもいきなり即戦力を求められる。



- 今後、全校児童20名を確保できない可能性**
- ・ 令和5年度 入学予定者1名 全校児童19名
  - ・ 上林保育所は令和4年度から閉園。開園の見通しなし
  - ・ 令和6年度以降、地域の子どものが入学するとは限らないという情報もある。
  - ・ 校区外就学制度
- 少子高齢化、廃校の不安、まちの存続危機に直面している。



# 子ども調査（R4年度とR5年度の比較）3～6年生

## R4 7月

幸せ・笑顔・なかよし・豊かな自然  
地域の人との交流・活気のある未来・発展への願い

### 子どもの思いや願い

- ・みんながルールを守ってみんなが幸せの暮しになってほしい。
- ・みんなが仲良く暮らせる地域 ・笑顔いっぱい地域
- ・ごみが減ればいいと思う。・安心安全の地域
- ・みんなで一緒に協力できる地域・いじめがない、仲のいい地域
- ・守っていくべき豊かな自然と伝統的な独自の文化をいかした、楽しく、明るい、活気のある未来につながる地域
- ・緑を減らさずに自然を大切にしてほしい。・コンビニ一つすらない上林をもっと発展させて欲しい。
- ・今まで通りの緑を守る上林、地域の人と餅つきをしたり交流が多い学校

### 課題

- ・通学路に少し、ビニール袋とか缶とかが増えてきた気がする。
- ・店が無い、お菓子とかを買うとき遠くにいくから近くに店が欲しい。

### 自由記述

- ・これからも、緑を大切にする上林であってほしい。
- ・田植えや稲刈りなど、ほかの地域ではできないようなことができるのがいい。
- ・お祭りが短縮・中止になったり、楽しみだった行事が減って悲しい。

## R4 11月

優しい人・豊かな自然・「上林らしい」  
お店・人がたくさん住んでいる地域へ

### 子どもの思いや願い

- ・優しい人がたくさんあふれる、より良い地域
- ・今まで通りの、明るく優しい地域のままでいてほしい。
- ・今よりもっと平和な地域
- ・豊かな自然をいかした、「上林らしい」地域
- ・ごみがなく、みんなが過ごしやすい場所になってほしい。
- ・自然が豊けどお店もあって人も沢山住んでいる地域
- ・小さい子からお年寄りまでが、仲の良い上林！みたいになったらいいなと思います。
- ・自然が豊かで、楽しく過ごせる地域
- ・安全安心の上林になってほしい。→9月に学校の正門前で交通事故発生
- ・事故が起きないようにしてほしい。

### 課題

- ・坂がきつい。

### 自由記述

- ・行事が楽しい。・みんなにこの思いが伝わってほしいです。
- ・思い出した時にもっとホームページをみたいと思いました。

## R5 7月 子どもの思いや願い

- ・自然がたくさんあり、小学校では全員がなかよしです。毎朝、元気よく、地域の方にあいさつをしています。
- ・自然がいっぱいで、地域の人がみんな優しいです。・みんなが楽しく暮らせる町になってほしいです。町を支え、上林の未来を支える、そんな人間に私はなりたいです。
- ・みんながなかよく、自然を愛する地域になってほしいです。色々な活動にみんなが参加してくれるような地域になってほしいです。
- ・初めて来た人も「上林はいいな」と思ってもらいたいです。

### 課題

- ・上林の宣伝をし、若い人にお試しで住んでもらう。空き家をリフォームして家を増やす。
- ・色々な人が遊べる公園や広場があるといいな。
- ・花火を上げて、夏祭りがしたいです。

自分の学校のよさを伝えたい  
地域の優しさを実感している子どもたち  
上林の一員としての思いへと変化

### 自由記述

- ・これからも上林地域を良くしていきたいです。

地域のよさ、自分の思いをより具体的に語ることでできる子どもを育成するために  
地域の人と継続的・連続的に関わり、つながりを重視したコーディネートをしていく

地域の皆さんへのアンケート結果：学校と地域の関係について 令和4年7月と令和5年7月の比較より

- ・回答者の50%は、60代の方と70代以上
- ・昨年度の課題であった「コミュニティ・スクールについて知っている」「学校支援等で授業に協力することがある」が大きく上昇

## 学校と地域との関係

Q1.あなたは近所の人へ挨拶している。

Q2.あなたは学校の先生が進んで挨拶してくれていると思う。

Q3.あなたは地域の行事や祭りに進んで参加している。

Q4.学校は地域のことに進んで関わってくれていると思う。

Q5.あなたは地域の役に立ちたいと思う。

Q6.あなたは近所の人をほとんど知っている。

Q7.近所の人、ここぞというときに頼れる存在である。

Q8.あなたは学校を信頼している。

Q9.あなたは学校の先生と関わる回数が増えた。

Q10.あなたは地域の行事で協力したときに充実感を味わうことがあ...

Q11.あなたは今住んでいる地域をよりよい地域にしたいと思う。

Q12.あなたは学校と地域は支え合う関係にあると思う。

Q13.あなたはコミュニティ・スクールについて知っている。

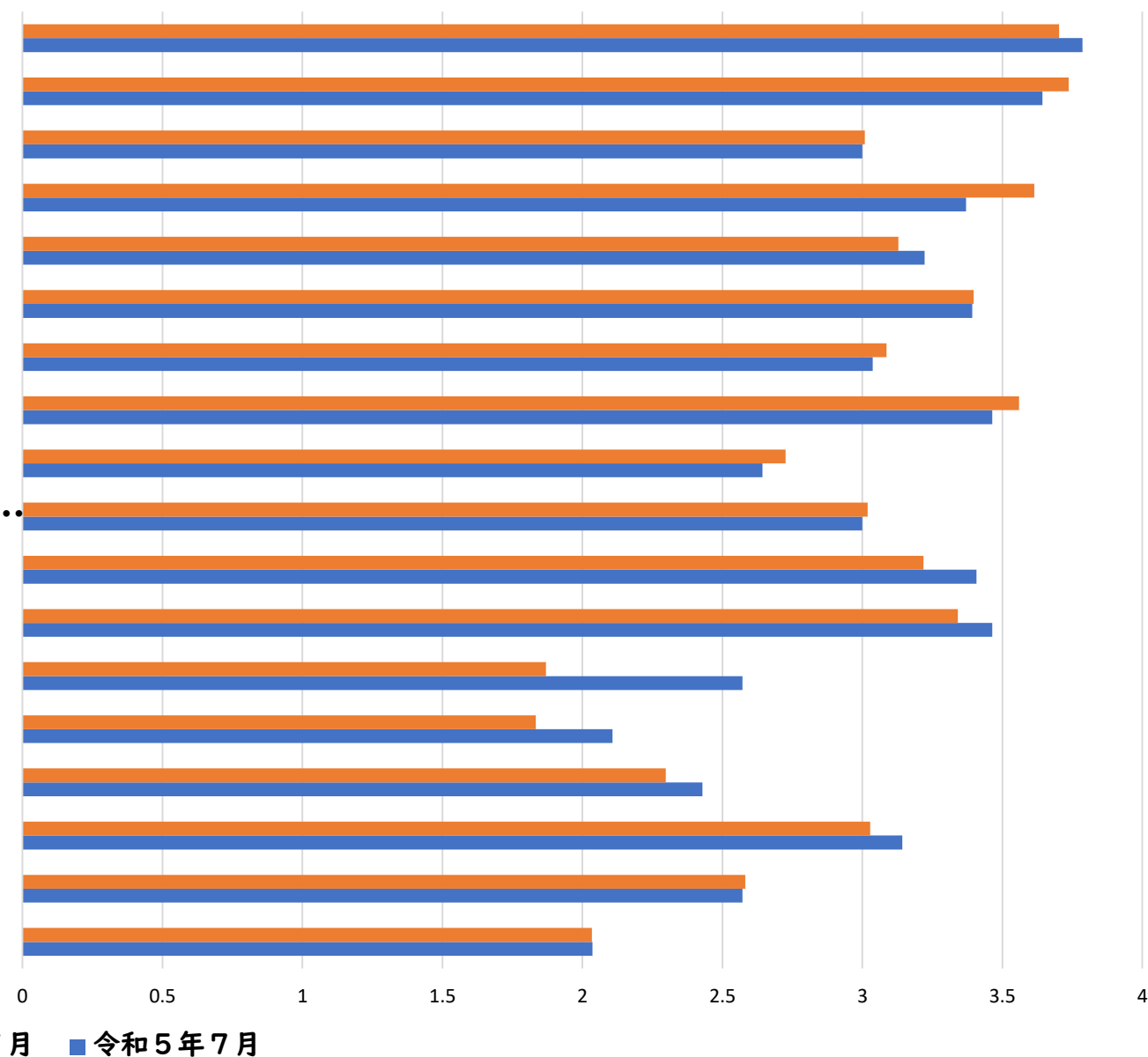
Q14.あなたは学校支援等で授業に協力することがある。

Q15.あなたは学校の先生と積極的に対話するように心掛けている。

Q16.あなたは学校の取組が地域の活性化につながっていると思う。

Q17.あなたは学校のめざす児童像を知っている。

Q18.あなたは学校運営協議会で話し合われた内容を知っている。



# 地域調査（R4年度とR5年度の比較）

## 課題 R4 7月

- ・生徒の減少・少子高齢化・過疎化・伝統行事の継承（複数）・農家の後継者不足・住民関係の希薄化（複数）
- ・接することがないということが問題なのかもしれません。
- ・私はS中学校PTA副会長、コミスクのメンバーでもあります。が、PTAは身近ですがコミスクの認知度があまり高くないのかもしれないと思っています。もっとアピール宣伝していけたらと思います。

### 学校に求めること

- ・地域イベントへの協力
- ・地域と学校が連携を密にし、子ども達の成長を見守り育てている今のような関係を、これからもずっと継続して行ってほしい。小規模校ならではの良さや、他の学校以上に先生と子ども達のこの近い関係性も、これからの先生方に受け継いで行ってほしい。

## 課題 R5 7月

- ・組長を始め、区会、公民館など役職が多い。仕事との両立が難しいこともあり、それが影響して若い世代がどんどん少なくなっているのではないかと思います。必要なものは残しつつスリム化をしていくことも必要なのではと思います。
- ・上林区をもっと盛り上げて活気のある楽しい地域にし、若い人達が増えていくこと。
- ・児童が少ないのでUターン、Iターンの受け入れを積極的に活動して欲しい。
- ・その土地で生まれ育った方と外部から引越してきた方との隔たりを感じる。
- ・生徒の減少・少子高齢化・過疎化・伝統行事の継承（複数）
- ・農家の後継者不足・住民関係の希薄化（複数）
- ・高齢者の足となる交通手段の確保・空き家問題。
- ・子供や若者が少なくなり活気がなくなっていると感じる。
- ・小学校の存続、地域の衰退

### 学校に求めること

- ・上林地区の中心的存在であり、情報の発信地である。
- ・今のコミュニティ・スクールが地域の方との歴史や体験学習ができてとてもよいと思います。
- ・地域と一緒に活性化する存在である。
- ・学力向上も大切ですが、精神的にたくましく他者を思いやれる強さを育む児童の育成を望みます。
- ・今の学校の地域に関わる体制を継続願いたいです。
- ・今後も地域の行事等に積極的に参画してほしい。
- ・今後もコミュニティ・スクールだより発行を継続してください。
- ・子供たちと地域が関わる機会が増えること。

### 自由記述

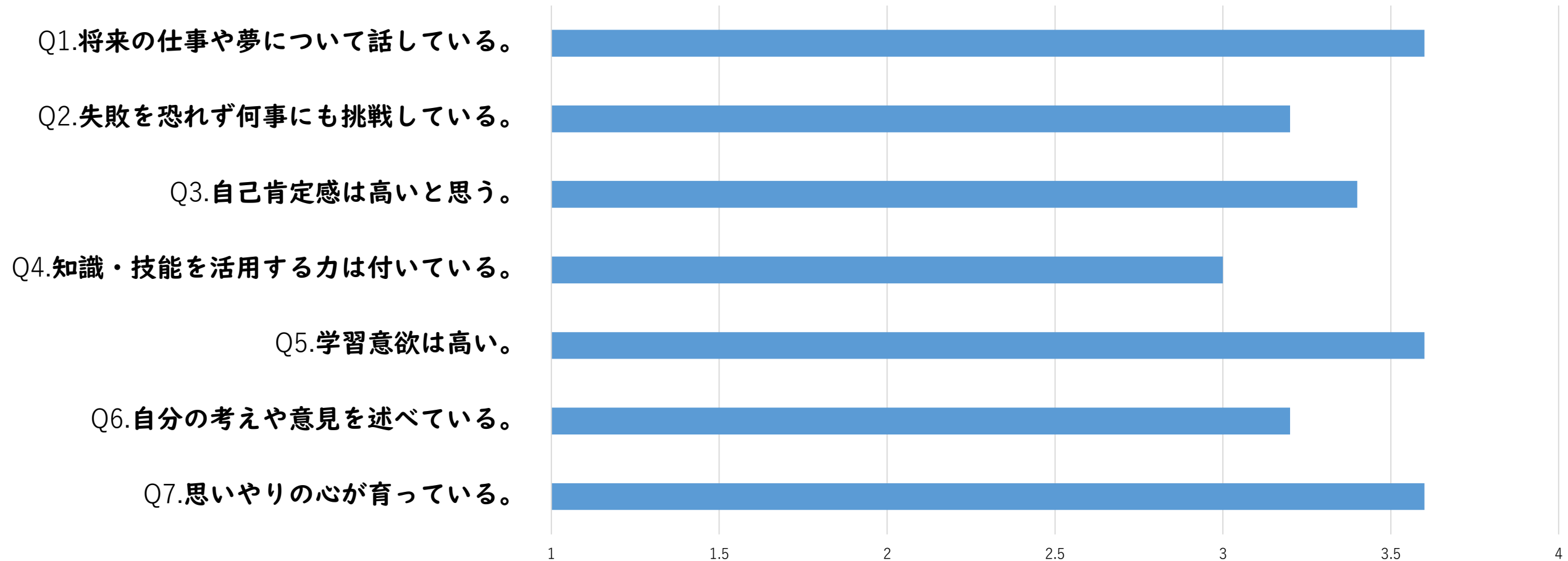
- ・周りに小学生が居ないので、皆さんがどんな事をされてるのかコミュニティ・スクールで知る事が出来、楽しく読ませて貰ってます。
- ・今の平穏な暮らしが出来るのも、地域の方々の活動や上林小学校先生、PTAの方々に感謝します。
- ・地域おこし協力隊を受け入れて外部から来た人を受け入れる土壌を作るべき。
- ・地域の活性化と子供の減少の歯止めとなるような対策をみんなで考えていきたい。
- ・学校を残していただきたい。複式学級のメリットあります。
- ・継続は今後にも有効です。お互いに努力しましょう。
- ・学校は大切な場所なので今後も存続してほしい。
- ・学校の先生方は、上林小学校のために遅くまで頑張っていたいただいていると思います。

### 学校への期待

地域は学校と連携して地域の課題を解決したい

- ◇少子高齢化 ◇地域の衰退 ◇学校の存続
- ◇農林業や伝統行事の後継者不足
- ◇地域の活性化 ◇役職のスリム化
- ◇交通手段の確保 ◇空き家問題

## 子どもについて n=5



### 教員の資質・能力の課題～見えてきたこと・取り組んでいくこと～

- ・ 学習状況を把握し、知識・技能をどのように活用させていくのか共通理解をして取り組んでいく。
- ・ 2～3年生の学力に課題があり、昨年度の学習指導の改善点を考慮し授業改善をしていく。
- ・ 自分の考えや意見を述べる機会を、学級内外で多く設定していく。
- ・ 人間関係が固定されがちな小規模校だからこそ地域人材との関わりを連続して計画し、より深い交流にしていく。

## 地域とのつながりについて n = 5

・昨年度の取組により、どの項目も高い数値を示している。  
・学校行事だけでなく、各学年の教育課程を踏まえて、地域人財を活用していく必要がある。

Q1.学校は子どもの活動を地域に対して積極的に発信している。



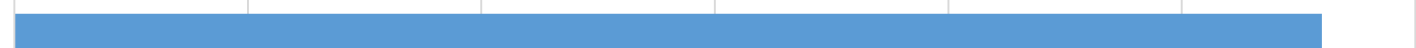
Q2.学校の取組が地域の活性化につながっていると思う。



Q3.地域の人と積極的に対話するように心掛けている。



Q4.地域の人に授業支援等で協力してもらうことがある。



Q5.学校と地域は支え合う関係にあると思う。



Q6.勤務地の地域をよりよい地域にしたいと思う。



Q7.学校は地域の人から信頼されていると思う。



Q8.地域の人と関わる回数が増えた。



Q9.地域の方は、ここぞというときに頼れる存在である。



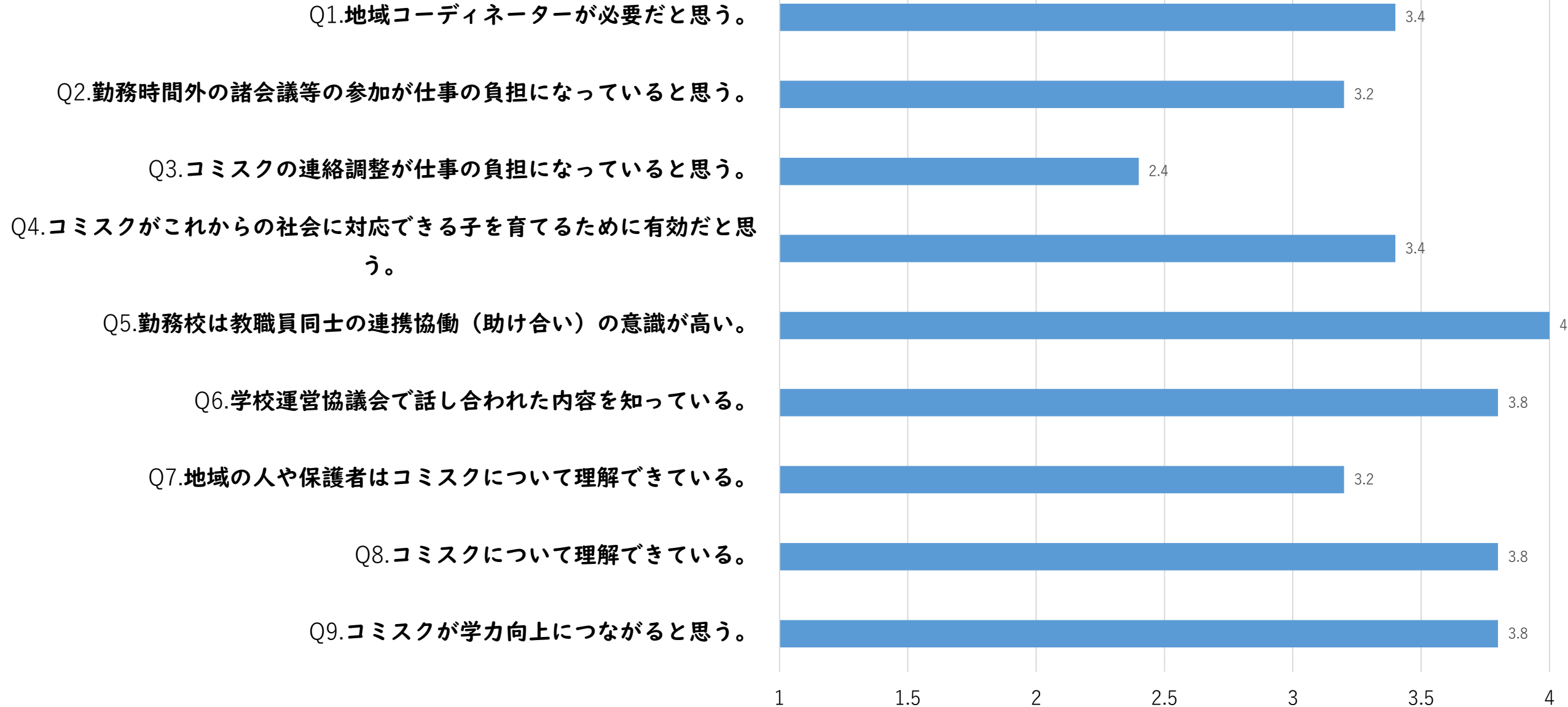
Q10.学校に来ている地域の方の顔と名前が分かる。



1 1.5 2 2.5 3 3.5 4

・コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会の活動内容の周知ができつつある。  
・平均3.44

## 地域と学校について n = 5



# 教員調査（R4年度とR5年度の比較）

R4 7月

## 教員として地域にどのようなことを求めますか。

- ・地域の魅力をさらに教えていただきたい。
- ・地域の子どもたちを地域全体で育てようとする意識
- ・今まで通りの協力をお願いしたい。

## 教員として感じている地域（校区）の課題はなんですか。

- ・交通安全。サイクリストの高速運転が、危険である。
- ・高齢化が進んでいる。

### 自由記述

・特にありません。

■現状に満足し、課題意識がない。  
 ■自分に関わる校務関係には関心が高い。  
 ◇課題を共有し、チームで取り組む体制づくりが必要

R4 11月

## 教員として地域にどのようなことを求めますか。

- ・学校の応援団として今後も協力していただきたい。
- ・子どもの数が少ないので、地域全体で子どもを見守り、育てていこうとする気持ち
- ・今後も地域とのさまざまな交流をさせていただきたい。いつもありがとうございます。
- ・今後も学校に対して協力的な地域であり続けてほしい。

## 教員として感じている地域（校区）の課題はなんですか。

- ・人口減少・児童数の減少
- ・在籍する子どもが減少傾向にあり、上林に残る伝統や文化が受け継がれにくい現状があるのではないかと思います。

### 自由記述

・今後も学校・地域・家庭が協力しながら教育活動を進めていきたい。  
 ・コミスクだよりのおかげで、活動や取組状況がとてもわかりやすく伝えられている。熱心に活動している方たちの姿を発信することで、周りの人をさらに巻き込んでよりよい組織にしていけると感じる。

■地域の課題を認識し、意識の変化が見られる。  
 ■チームの一員としての自覚が高まっている。  
 ◇各教員の当事者意識を育て、やりがいを実感させる仕掛けが必要

R5 7月

## 教員として地域にどのようなことを求めますか。

- ・今まで同様学校のよき応援団として協力してくれること。
- ・これまでもたくさんしていただけていますが、上林の魅力を子どもたちに伝えていくための授業支援を今後ともお願いしたいです。

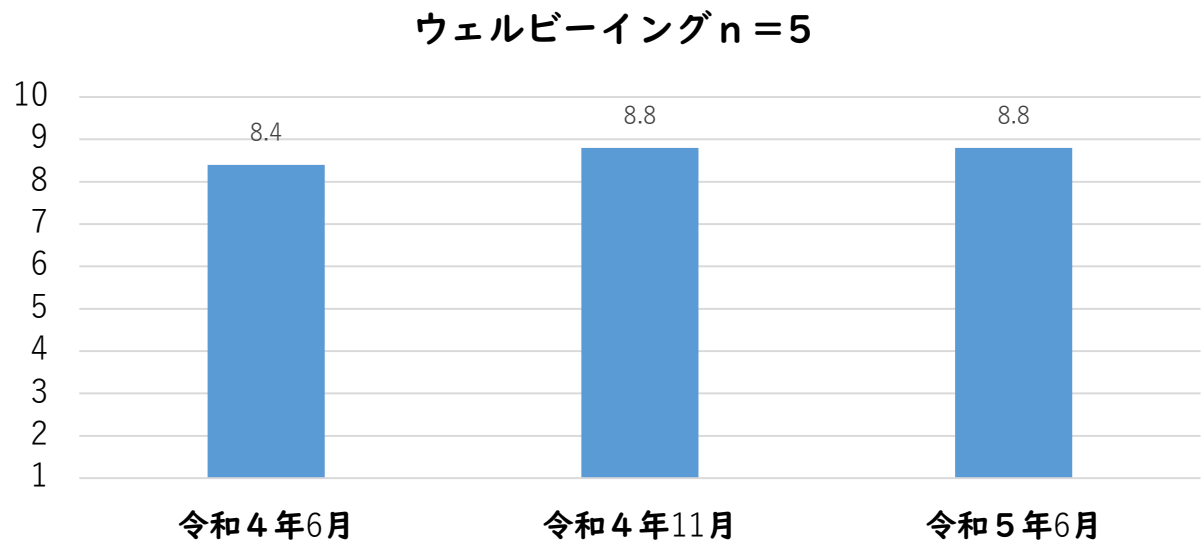
## 教員として感じている地域（校区）の課題はなんですか。

- ・高齢化だと思います。
- ・コロナ禍が収まりつつある中、以前のような地域で地域に学ぶ機会を取り戻したいと思う人とそうでない人の熱量の差を感じる。
- ・少子高齢化が進み、将来的に学校の存続が問題となり得る。
- ・児童数の減少

### 自由記述

・上林区は、学校・家庭・地域がコミュニティ・スクールの導入以前から密接で良好な関係が築けている地域である。今後も本校が地域の核であり続けるよう願ってやまない

■地域のよさや課題を地域の目線でも考える意識へ変化している。  
 ■地域人材の積極的な活用への意欲が高まっている。  
 ◇各教員が地域人材を活用しやすい環境をつくる



# 学校運営協議会 熟議の質が変化

## 令和4年

### 第1回5月

- ・校長室で行う
- ・順番に一言ずつ話す。

### 第2回 大雨警報で中止

### 第3回9月

- ・アクリル板を購入し図書室で開催
- ・上林地域のアンケートの結果をもとに「地域の課題とふるさと教育」について熟議
- ・前年度までは運動会の感想を言って30分ほどで終わっていたそうであるが、伝統的な行事や教育環境について積極的な意見が出た。
- ・コミュニティ・スクールだよりを246全戸配付の承諾を得た。
- ・「城山ウォーク」（上林から松山城まで歩いて行き電車で帰る。）復活希望の意見が出た。
- ・桜の木の伐採をしよう。（数年前から大きくなりすぎた木の伐採の話があった。いらがの大量発生による子どもの安全を心配）
- ・「上林にまつわる伝説の人」について情報交換

### 第4回2月

- ・次年度は地域が参加する運動会を開催するとよい。5月～準備をしないと。
- ・マスク生活で子どもの顔と名前が分からなくなっている。できる限りいろいろな行事を始めていくとよい。
- ・子どもが伸び伸びと育つ体験活動を地域とともにしていこう。
- ・地域コーディネーターの役目についてもっと話し合うとよい。
- ・地域巡りをする際には、地域のことを子どもに教えますよ。

令和4年度  
コミスク便り1  
の熟議の写真を  
入れる。



## 令和5年

### 第1回4月

- ・PTA総会で保護者・子どもに紹介してスタート
- ・教職員や子どもの負担を軽減するために、運動会の準備は地域の力を頼るとよい。10月は稲刈りも終わっている。
- ・「ふるさと上林」を作成していたように、上林めぐりを再開してはどうか。

### 第2回8月

- ・法蓮寺の改修工事が10月に完了予定。子どももお祝いの行事に参加してほしい。地域のつながりは大切だ。
- ・子ども参加型の秋祭りにし、後継者育成とふるさとを大切に思う心を根付かせたい。2日開催で獅子舞や子ども相撲も体験させたい。今のままでは地域の伝統がなくなる。子どもの笑顔が見たい。→後に、大改革を起こす！
- ・PTA活動に参加する保護者の熱意が二極化し人手不足。→もっと地域を頼っていい。元PTAも協力していこう。

### 第3回10月

- ・来年度もこの時期（稲刈り後）がよい。公民館と合同ででき地域の方がたくさん来てくれてよかった。
- ・来年度は、子どもの種目・公民館種目をもうひとつくらい増やしてみてもどうか。
- ・中学生や高校生、卒業生が参加できる種目を、公民館種目に入れてみてはどうか。

- ・地域や各立場から出た課題に対する具体的な解決策を練り合う場となっている。
- ・学校を核として地域を活性化する提案が多く出され、実現していった。「未来を担う子どもたちのために！」

参加者のエージェンシーが  
高まってきた！



# 小規模校での実践例「ふるさと学習を柱としたカリキュラム・マネジメント」

低学年（1・2年生複式学級4名）を担当 特別支援学級（2年生1名）と協力体制で生活科を中心に教科横断的な取組を計画・実施 **～途切れることのないかわり～**

低学年の学びと思いが全校へと広がっていく

地域が誇る米づくり  
田植え（5月）



わくわく農園で生き物との  
触れ合い（5～6月）



おにぎりパーティー①  
米づくり名人Tさんと（6月）



おいしいお米の育て方  
米づくり名人Hさんと（7月）



Tさんのお米をみんなで食べよう！参観日にして家族にも食べてもらおう！

全校のみんなに伝えよう！

どきどきわくわく  
まちたんけん  
地域で有名な集いの場へ

地域のカフェ  
「和の里」

上林の景色に魅了され、大阪から移住されたご夫妻が経営



上林の夜空の美しさを思い、店の名前が付けられた。

地域のそうこ市  
「星の郷」（6月）



そうこ市人気メニューはTさんの米を使った炊き込み飯だった！食べてみたい！

全校のみんなに星の郷のメニューを紹介したい！



図画工作科  
「ふるさとメニューで  
ごちそうパーティー」  
（6月）

図画工作科  
「人権ポスター」  
（7月）



国語科  
「あったらいいな  
こんなもの」  
（7月）



# 小規模校での実践例「ふるさと学習を柱としたカリキュラム・マネジメント」

低学年担任をバトンタッチ（病休の教諭が9月から復帰） 特別支援学級（2年生1名）と協力体制  
生活科を中心に教科横断的な取組を計画・実施 **～途切れることのないかわり～**

互いの名前を呼び合う  
かわりへと変化

秋とあそぼう

どんぐり拾い（10月）

「Rちゃん、すごいね。」  
「Kくん、ここにあるよ。」  
「うちのトラクターに乗ってみる？」

どんぐりを  
使って遊ぼう  
KさんやMさん  
も招待したい！

どんぐりパーティへようこそ



宇吉さんの  
子孫Kさん



椎茸名人  
Mさん



どきどきわくわく  
まちたんけん  
地域で有名な集いの場へ



「法蓮寺」で菅能宇  
吉さんのお弟子さん  
が積んだ石垣を発見

どんぐり人形やどん  
ぐり駒をプレゼント  
したい！

子どもたちにカブト  
ムシの幼虫を持って  
きました。30匹！



地域のそうこ市  
（9月）

お礼の手紙と星  
の郷のメニュー  
を手作りした作  
品をプレゼント  
したい。

焼きたてシフォ  
ンケーキをいた  
だき、家族にも  
紹介

お渡ししたリーフレットととも  
に、店頭においていただき、イ  
ンスタで紹介された。

地域のそうこ市  
（1月）これも市のイ  
ンスタで紹介



# 小規模校での実践例「ふるさと学習を柱としたカリキュラム・マネジメント」

子どもと地域の思い  
が繋がっていく

高学年（5・6年生複式学級6名）

総合的な学習の時間を中心に教科横断的な取組を計画・実施 **～途切れることのないかわり～**

地域の自然環境を守ろう  
ささゆり緑の少年隊の  
活動で公園の清掃（6月）

地域の課題を解決しよう  
タウンミーティング  
に参加（8月）

地域の伝統を受け継ごう ようこそMさん  
上林音頭誕生秘話・里神楽継承ついて（9月）

運動会（10月）



上林のよいところをずっと残していこう。上林の活性化のためにできることをしよう。



地域の歴史を伝えよう  
前園実知雄先生とふるさとめぐり 歴史バージョン

T市生涯学習課9人乗りの車で移動が可能になった。

城山天満神社

今年度企画した  
新たな取組

民話でよく耳にしていた本物に触れる貴重な機会

花山城跡

ほろせ岩

演奏は高学年4名で

菅能宇吉さん  
が積んだ石垣



# 小規模校での実践例「ふるさと学習を柱としたカリキュラム・マネジメント」

高学年（5・6年生複式学級6名）  
総合的な学習の時間を中心に教科横断的な取組を計画・実施

子孫のKさん（11月）

ふるさと教材の開発と活用

～途切れることのないかわり～

## 上林が生んだ伝説の石工「菅能宇吉さん」 ～上林の伝統を未来に伝える～

昨年度作成した  
宇吉さん教材で  
学びを重ねる子  
どもたち

運動会団体種目  
「石工たちの闘い」



宇吉さんの短歌を作って  
はがき歌コンクールに応  
募（Oさんの提案）



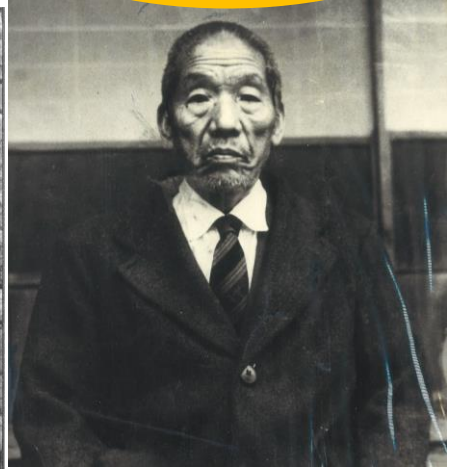
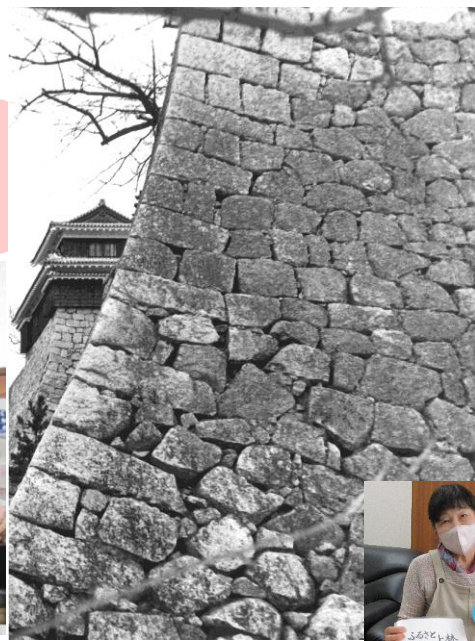
下学年に宇吉さんアン  
ケートを実施



「日本に菅能宇吉有り」と  
名を知られる業績を残した  
のは私たちの誇りです。



父は地域のためにも  
尽力していたと語る  
末娘のかね子さん



下学年からビデオメッセージ



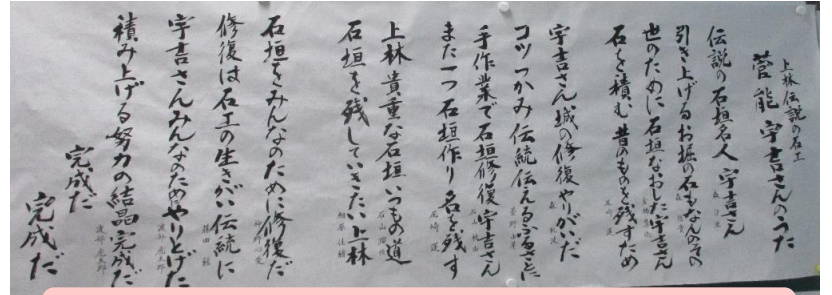
宇吉さんの弟子は上林  
出身・光夫さんの父親  
も

Oさんの娘、歌い手みふいたさんの協力で宇吉さんの  
歌が完成！Oさん手書きの歌詞が学校に届きました。

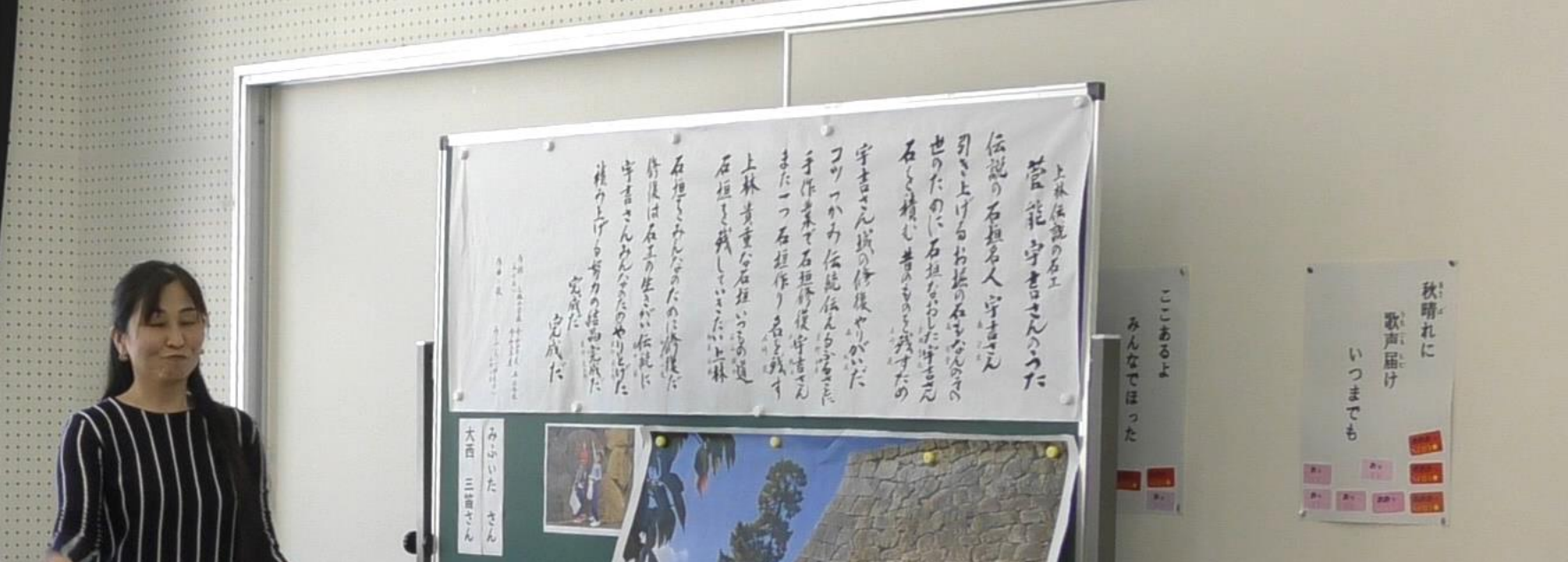
考えをマッピングにまとめて



分かったことを学芸会で演  
じ、地域の人にも伝えたい



カネ子さん、みふいたさんともつながっていく



上林 伝説の石工  
菅花 守吉さんのお話  
伝説の石垣名人 守吉さん  
引き上げるお話の石垣名人の  
世のたのしむお話をした守吉さん  
石垣と積む昔の物語を残すたの  
守吉さん 城の修復やりに  
フツツかみ 伝説の石垣名人  
守作さん 石垣修復 守吉さん  
また一つ 石垣作り 名を残す  
上林 貴重な石垣の名を  
石垣と積む昔の物語を  
石垣名人の物語を  
修復は石垣の生かす伝説に  
守吉さん みんなのやりとりに  
後ろ上げの努力の物語を  
完成した  
吉成 伝

みふいた さん  
大西 三貴さん



ここあるよ  
みんなではった

秋晴れに  
歌声届け  
いつまでも

# 小規模校での実践例「ふるさと学習を柱としたカリキュラム・マネジメント」

高学年（5・6年生複式学級6名）

総合的な学習の時間を中心に教科横断的な取組を計画・実施 **～途切れることのないかわり～**

地域のキーマン  
たちが様々な学  
びをつなぐ

地域のよさを発見！

米づくり名人 Tさんの新米で人気メニュー「炊き込みご飯」を作ろう

来年もしましょう！

来年は、星の郷のおかずも作り、もっと盛大にしましょう。今年だけで終わらんようにね！（Tさんより）

具材の切り方や包丁の使い方を直接教わる  
子どもたちは感動がいっぱい

炊き込み名人さんの味  
付けおいしい！

Hくんのおじいちゃん、すごいね！

じいちゃんの米はやっ  
ぱりおいしい。



市のインスタで紹介



2023/12/20

図画工作科  
「里神楽」（10月）

国語科  
5年「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」  
6年「表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう」

菅能宇吉さんグッズを「星の郷」さん  
にプレゼント→初売りの景品に！

上林のよいところをずっと残して  
いこう。上林の活性化のために  
できることをしよう。



2023/12/20

# 小規模校での実践例「ふるさと学習を柱としたカリキュラム・マネジメント」

全校での取組 学校行事を中心に計画・実施 ～途切れることのないかわり～

## 地域が誇る米づくり

### 田植え



### 稲刈り



手伝いと片付けも子どもが参加

### 脱穀



しめ縄作りの名人さん 95歳のJさん、Kさん来校

### 地域の方としめ縄作り



「星の郷」メンバーに協力していただく

### 地域の方ともちつき大会



## 名人さんのお米でおにぎりパーティー

### 前園実知雄先生とふるさとめぐり

上林のことを誇りに思って生きてほしいとのことばをいただく



### 法蓮寺



### お京が淵



### 回国記念碑



### ごぜ石

### 森林公園



環境ポスターを子どもたちが自らの手で貼る

風穴を体感しながら俳句づくり

### 風穴



# 地域の伝統を「コミュニティ・スクールだより」で発信・SSSの活用

教育推進基本計画基本的な方針 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

我が国においては、利他性、協働性、社会貢献意識など、人とのつながり・関係性に基づく要素（協調的要素）が人々のウェルビーイングにとって重要な意味を有している。

5つの基本的な方針 ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることにより、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされる。地域で人と人とのつながりを作り、協調的な幸福感を紡ごうと取り組んでいる人たちが自信と誇りを持つことができるようにしていく必要がある。

循環を円滑にするのが核となる学校

アンケート結果公表

地域の声を聞き、現地に足を運び、子どもとつなぎ、全世帯に情報発信

里神楽7月



夏祭り7月



上林音頭・里神楽9月



獅子舞練習（上組・下組）9月



運動会・上林音頭10月



秋祭り・子ども相撲10月



巨大門松作り・イルミネーション12月



法蓮寺落慶法要12月



学校の桜の木の伐採



学芸会  
2月



## ②子どもがエージェンシーを発揮する教師力とは何だろう。 教師の質の変化

### ○全教員が全校児童を担当する時間割の工夫

- ・小規模校はとにかく人手不足！学担と専科教員みんなで子どもを育てる。
- ・子どもを多角的な視点で見取り、情報共有する。

### ○教員のエージェンシーを高める働き掛け

### ○カリキュラム・マネジメントを行い、地域連携を計画・実行する力を付けた教員集団へと成長

### ○◇学年学級担任が動き出すアプローチ

- ・（ ）を任せる。
- ・（ ）を依頼する。
- ・T市魅力ある学校づくり研修会で（ ）
- ・学芸会の（ ）提案する。等々

### ○「わたしたちの誇り上林」の作成を提案&作成中

- ・昨年度作成の「ふるさと上林」作成の手応えを実感させる。
- ・協働して計画を立てる。
- ・各教員の得意分野を任せる。

R5 11月

### 教員として地域にどのようなことを求めますか。

- ・現在行ってもらっている、生活科等の授業のサポートを継続してもらいたい
- ・地域とともに、教育活動を推進していきたい。←○学年学短
- ・今後も、授業に来てほしい。必要な情報について、話を伺いたい。

### 教員として感じている地域（校区）の課題はなんですか。

- ・地域のよさを体感できる教育活動を子どもたちに提供したいが、保護者間の温度差を感じる。コロナ禍で遠ざかっていた地域の方との交流や地域に出かける活動への協力が得にくい。

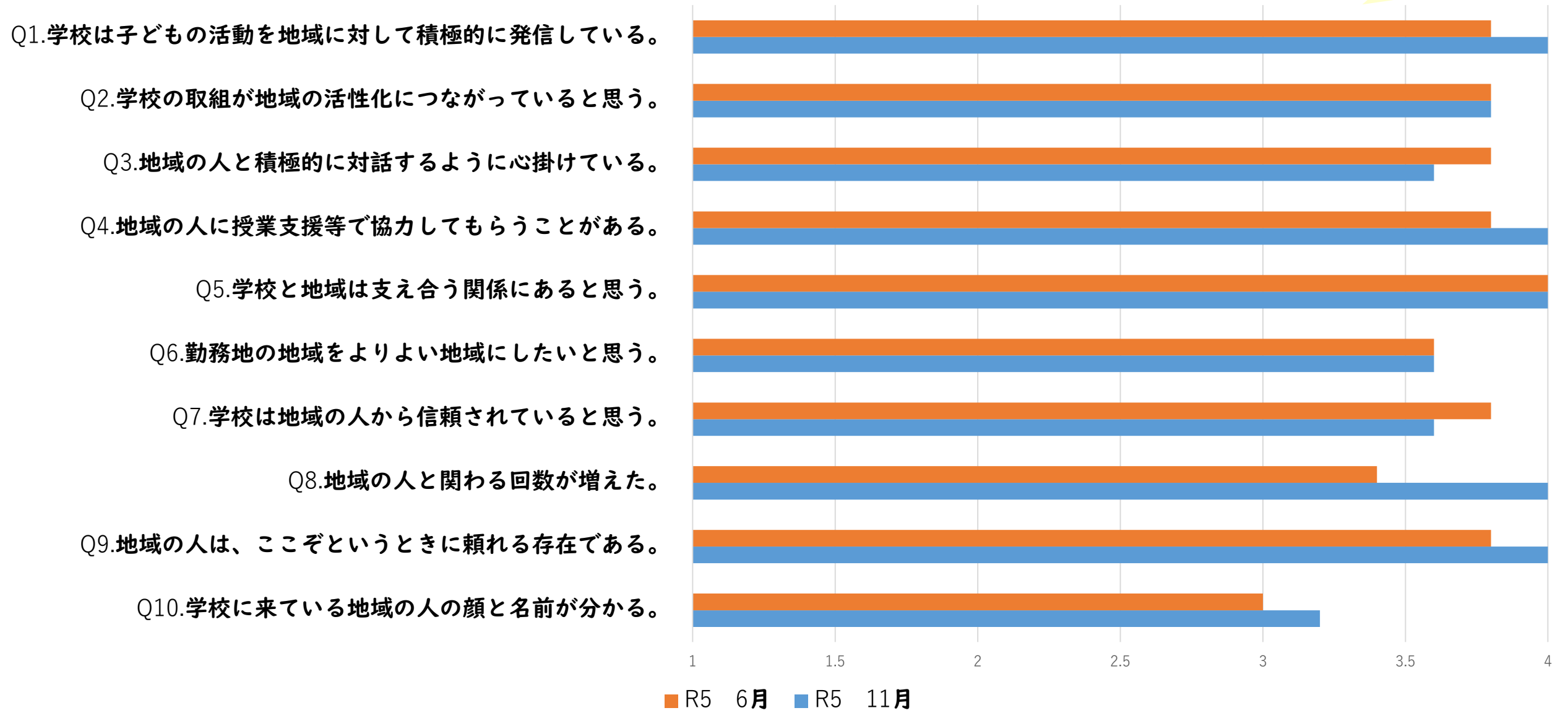
### 自由記述

- ・地域の方には、子どもたちの学びのために快く御協力いただき感謝しています。子どもたちの会話の中に、これまで一緒に活動させていただいた方々の名前が、自然に出てくるようになってきました。地域とともにある学校を実感できることが増え、積み重ねの成果を感じています。

## ②子どもがエージェンシーを発揮する教師力とは何だろう。 教師の質の変化

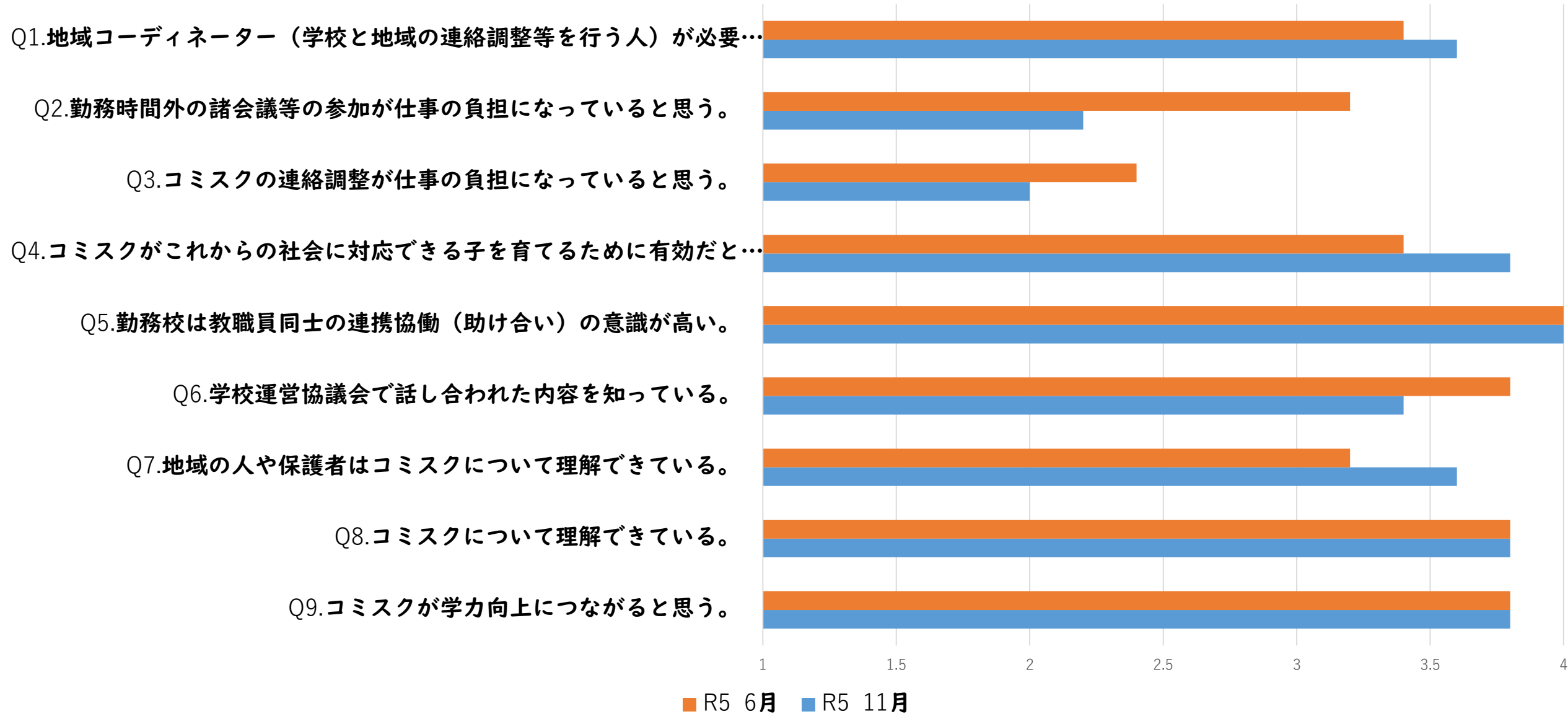
2学期から復職教員の数値が低いことを踏まえても上がっている項目が多い。

### 地域とのつながりについて n = 5



## ②子どもがエージェンシーを発揮する教師力とは何だろう。 教師の質の変化

### 地域とのつながりについてn=5



## ②子どもがエージェンシーを発揮する教師力とは何だろう。 他組織とつながり支援と協力

### 新聞社のメディア活用による地域の活性化

- ・前園実知雄先生、Mさんの取材
- ・地域の方が学校教育に注目
- ・菅能宇吉さんの連載が決定 3月に第1回～4回予定

### T市広報部のメディア活用による地域の活性化

- ・菅能宇吉さんの末娘「高原カネ子」さんとの出会い
- ・菅能宇吉さんの特集
- ・担当のWさんと子どもや教員、地域の方とつながる
- ・市長の思いとつながる

### 松山市教育研修センター

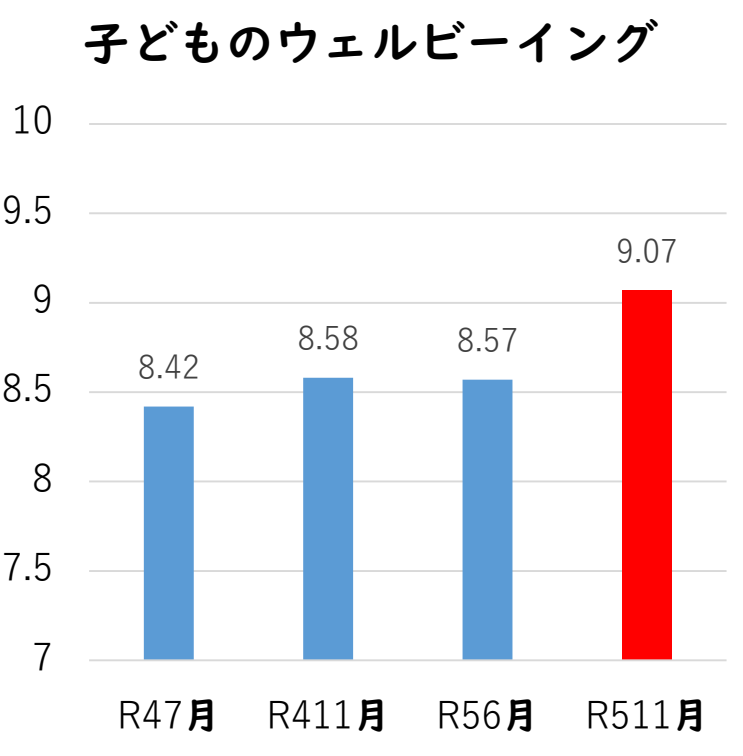
- ・「カリキュラムサポート室」への配架「菅能宇吉」
- ・「ec松山」内へのアップ

### T市生涯学習課の地域連携協働活動事業

- ・事業費の活用
- ・市バスと公用車の利用
- ・地域連携協働サポーターに登録

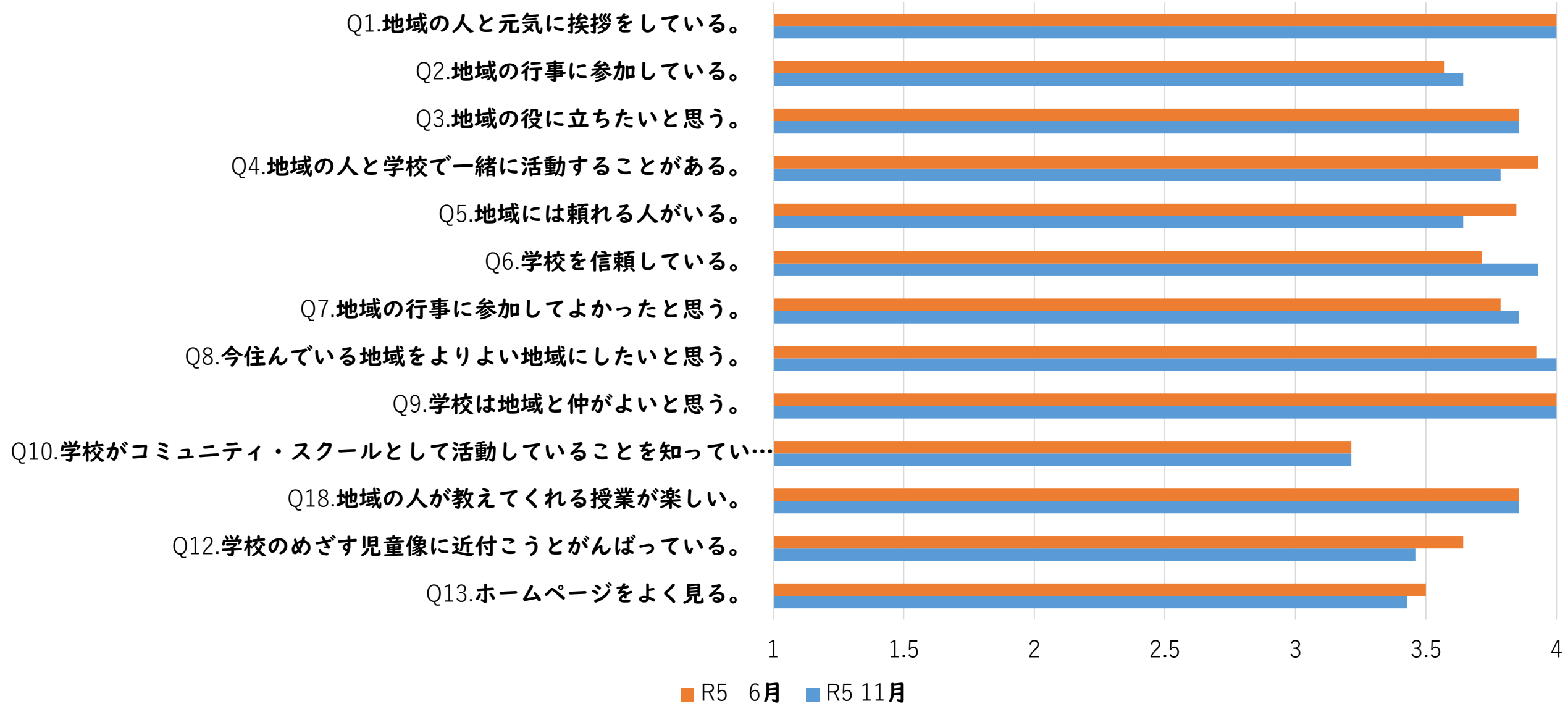
### 愛媛県教育会 研究助成金の申請

- ・助成金を活用
- ・連携校へ教材配付
- ・T市M小学校とS中学校へ「菅能宇吉」



# ③子どもにとってのウェルビーイングとは何だろう。 子どもの変容から

## 地域について n = 15



### ③子どもにとってのウェルビーイングとは何だろう。 子どもの変容から（感想カードの一例より）

地域の方の名前が日常的に出てくる関係性を築き、  
思いを表現する子どもたち

- 米づくり名人さんの授業後
  - ・4月は水をためる、5月は田植えなど一年中お世話をしていることが分かりました。私のおうちもお米を育てているので、お手伝いを頑張りたいです。森忠臣さんのおにぎり、おいしかったです。（2年生）
- 星の郷へ探検後
  - ・地域の人に喜んでほしいことが分かりました。またお母さんと行ってみたいです。（1年生）
  - ・星の郷にはお客さんがいっぱい来ることが分かりました。…たくさんの人に集まってほしいです。（2年生）
  - ・地域の人が作った野菜や炊き込みご飯を売っていることが分かりました。夜になると上林の星がきれいな話を聞いて嬉しかったです。（2年生）
- ふるさとめぐり
  - ・上林の名所が山の中にあることに驚きました。小学校からはかなり離れているけど、上林だからこそ残る歴史的な物がたくさんあって面白かったです。自分のふるさとにこんな素敵なところがあることを知ったので、今度家族で行ってみたいと思いました。（5年生）
  - ・前園先生に教えてもらったこと、上林に残る歴史をこれからもっと大切にして伝えていきたいです。（6年生）
- 稲刈り後
  - ・尚徳さんが鎌でシュッと切るのを教えてくれて、たくさん稲刈りをすることができ嬉しかったです。（2年生）
- しめ縄づくり
  - ・地域の名人さんと伝統を体験できて、上林はいい地域だなと思ったし、自分たちが栽培した餅米の稲わらを使うことで、エコだなと思いました。（5年生）
- 餅つき大会後
  - ・私が気付いたことは、学校で習ったことは生活にも生かして活用できるということです。（5年生）
- 上林音頭を作った光夫さんの授業後
  - ・地域の方は上林を大切に思っていることが分かりました。私も、上林を盛り上げていきたいです。（5年生）

## ①小規模校における子どものウェルビーイング向上に向けた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環

- 地域の方と本物との出会いを通して地域の良さを知る
- 地域貢献、夢や目標を実現する過程を経験する
- 認め、愛されている実感を得る
- 関わる人がやりがいや幸せを感じる教育活動の実現



## ②子どもがエージェンシーを発揮する教師力

「○○についてもっと知りたい。」「学びたい。」「意欲を引き出す。」

◇教師は、各学年の発達段階や子どもの実態に応じたカリキュラム・マネジメントを行う。

「地域の○○さんと～しよう。」「地域の○○へ行ってみたい。」思いを具現化する。

◇教師は、地域人材を活用し、地域の方と子どもの思いをつなぐ授業をコーディネートする。

「○○について知ったことを他者にも伝えたい。」「地域の方に喜んでもらいたい。」思いを実現する。

◇教師は子どもの思いを実現する教育活動や授業改善を行う。

子ども  
・他者評価により認めってもらう経験を重ねる。  
・できた喜びや愛される実感を得る。

◇教師は子どもの成長を支援・フィードバックし、共に成長を喜ぶ。

子どもの幸せのために願う地域との協働的な学びを実践





- 大蔵真由美（2022）．「地域教育経営を通じた地域文化の創造を継承」
- 柏木智子（2006）．「学校と地域の連携における子どもの主体形成－参加・他者との関係性・社会認識と自己認識に着目して－」
- 白井俊（2021）．「OECD Education2030プロジェクトが描く教育の未来－エージェンシー、資質・能力とカリキュラム－」 ミネルヴァ書房
- 諏訪英広・田中真秀・畑中大路（2019）．「学校運営協議会設置による地域活性化－ソーシャル・キャピタル論の視座から－」
- 露口健司（2018）．「地域とともにある学校は実現できるのか」
- 萩野亮吾（2019）．「学校支援を通じた地域のソーシャル・キャピタル再構築の過程－大分県佐伯市の『協育』関連事業を事例として－」
- 文部科学省（2017）．地域学校協働活動推進のための地域コーディネーターと地域連携担当教職員の育成ハンドブック  
国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
- 文部科学省中央教育審議会（2023）．次期教育振興基本計画について（答申）
- 文部科学省（2022）．「計画ポイント解説～ウェルビーイング編」 内田由紀子